



子牛の首に装着したタグで活動量を測定

守るはタグ利用料は1頭当たり月額400円。それでも後押しシ命応じ用でスをじ用。されば」酪農経営を少し開発した子牛の命応じ用。ついで規模などによつて相談に必要な初期費用でスをじ用。

えているから、疾病兆候の早期発見にもつながる。昨年の秋から冬にかけて試験導入した都府県の畜産農家で、1000頭の子牛にタグ装着、ワクチン接種なしで生存率97%を得られたといふ効果が得られたといふ。

テム。たいたいとの思いから、酪農畜産関連機器を扱うライブストック・アグリテクノ・L.A.T.、本社・さいたま市、石井寛文社長)は今月から、子牛専用のスマート飼養管理システム「アットモーメント」の提供を始めた。小型タグを子牛の首に装着し活動量を測定、体調異常などを通知する仕組み。経産牛を対象にした同様のシステムは多数あるが、子牛に特化したもののは珍しく、酪農関係者の注目を集めそうだ。

◎ 超軽量小型タグで子牛の体調を管理・L.A.T.は、飼料や添加剤などの輸入販売を手がける力スケデイア・トレーディング(石井社長)が昨年、子会社と中で設立した。石井社長は「長年、酪農畜産業界に関わる人間の目だけで見る限界と大変さを痛感し、何か後押しがきないか考えてきた」という。

ヒントになつたのは、ランドセルにタグを取り付け、子どもの登下校情報を保護者に通知する防犯対策ツール。この機能の応用で、子牛にも負担とならないタグの軽さを実現した。重さはわずか60gしかなく、生まれたその日から首に装着できる。振動により自動で発電するため、電池交換の必要もない。一度導入すれば、別の子牛に付け替えるだけで半永久的に使用できるのもメリットだ。

タグで活動量を測定し、パソコンやスマートフォン、タブレット端末にデータを送信、生産者はいつでもどこでも把握できる。不調を伝えるアラート機能を備えており、飼育や受信機導入に必要な初期費用で、試験導入した都府県の畜産農家で、1000頭の子牛にタグ装着、ワクチン接種なしで生存率97%を得られたといふ効果が得られたといふ。